



(令和3年4月～令和4年1月)

1 第10回通常総会の開催

(オンライン併用によるハイブリッド会議)

第10回通常総会が、令和3年6月1日午後3時30分から霞山会館においてハイブリッド会議形式で行われた。

安元副会長が総会議長を務めて審議が行われ、令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の事業報告・決算報告、令和3年度事業計画・予算について承認された。

つづいて、役員の選任について審議が行われ、5月に行われた正会員会社の記名連記式投票による選挙の結果から第1回理事会で選出された正会員14名と特別会員から推薦された7名、監事2名が全会一致で承認された。



第10回通常総会であいさつする古川会長

会長、副会長、専務理事の選任

総会終了後開催した理事会において、会長、

副会長、専務理事の選任について協議した結果、会長には、古川実氏(日立造船株)、また、副会長には安元豊氏(日立造船株)、山下芳浩氏(日鉄エンジニアリング株)、薄木徹也氏(JFEエンジニアリング株)、専務理事には高木宏明氏((一社)日本環境衛生施設工業会)がそれぞれ選任された。

会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、次の9氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して増田氏(株タクマ)から謝辞があった。

上山 真喜 氏(極東開発工業株)

谷 有弘 氏(クボタ環境サービス株)

谷 義則 氏(川崎重工業株)

戸松 孝之 氏(株協和エクシオ)

中島 剛 氏(株西原環境)

中森 裕之 氏(株プランテック)

増田 孝弘 氏(株タクマ)

山本 隆之 氏(新明和工業株)

山本 哲也 氏(クボタ環境サービス株)



会長表彰(左より上山氏、谷氏、中島氏、中森氏、増田氏、山本(隆)氏、山本(哲)氏)

2 令和3年度臨時総会の開催

令和3年度臨時総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止等に配慮し、書面による議決権行使(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条)で行った。具体的には、令和3

年11月12日に、古川会長より臨時総会の議決の目的である事項についての内容が示された議案書を正会員19社、特別会員9名に送付し、11月19日までに全員から同意が得られたことから、議案である役員の選任について承認され決定した。

なお、今般の役員の選任については、正会員理事である 水ing エンジニアリング(株)の大矢理事から交代の申し出があったことから、その後任として藤井輝典氏が承認された。

3 理事会の開催

次の各日程及び議題により、理事会が開催され審議が行われた。

◇令和3年5月10日（第1回）

（オンライン併用によるハイブリッド会議）

- ・会長表彰について
- ・特別会員の入会について
- ・特別会員の理事・監事への推薦について
- ・正会員理事の選出について
- ・令和2年度事業報告（案）について
- ・令和2年度決算報告（案）について
- ・第10回通常総会の開催について
- ・職務執行状況報告について

◇令和3年6月1日（第2回）

- ・会長、副会長、専務理事の互選について
- ・常任理事の互選について

◇令和3年11月12日（第3回）

- ・常任参与の選任について
- ・臨時総会（書面）の開催について
- ・職務執行状況報告について

4 環境大臣表彰

一般廃棄物処理に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績により環境大臣表彰（一般廃棄物関係事業功労者）が、伊東久雄氏（エスエヌ環境テクノロジー(株)）と石川隆雄氏（水ing エンジニアリング(株)）に、

また、廃棄物等の発生抑制、循環的な利用及び適正処分又は浄化槽によるし尿及び、雑排水の適正処理に関する研究開発、技術開発において、学術的、実用的に優れた業績を上げ、その成果によって廃棄物処理事業又は浄化槽関係事業の発展に対する顕著な功績による環境大臣表彰（廃棄物・浄化槽研究開発功労者）が保延和義氏（JFEエンジニアリング(株)）と柴田清氏（株タクマ）に授与された。

なお、本年は、新型コロナウイルスの関係で、「生活と環境全国大会」が中止となったため、表彰式は行われなかった。後日、表彰を受けた4氏に対し、工業会から記念品が贈呈された。



環境大臣表彰受賞者
（左から柴田氏、保延氏、石川氏、伊東氏）

5 施設見学会の開催

- ・技術委員会

令和3年7月9日に東京都日野市にある「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設」において



施設内を見学

施設見学会を行い、15名の参加があった。



集合写真
(浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設)

・建設運営一体事業研究会

令和3年11月24日に山梨県笛吹市にある甲府・狭東地域ごみ処理施設事務組合「甲府・狭東クリーンセンター」において施設見学会を行い、17名の参加があった。



施設内を見学



説明を受ける見学者
(甲府・狭東クリーンセンター)

6 海外環境事情調査

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大等の

状況に鑑み、昨年同様実施することは困難な状況となった。今後の感染状況等を注視しながら情報収集等を行い、来年度以降の調査実施に向け、対象施設や実施時期等について検討することとした。

7 自由民主党に対する要望

令和3年11月25日に開催された、自由民主党主催の「予算・税制等に関する政策懇談会」に高木専務理事が出席し、「令和3年度予算・税制に関する要望書」を提出するとともに、その内容について説明を行った。

8 受託調査等の実施

(株)サステイナブルシステムデザイン研究所が発注した「令和3年度ベトナムにおける廃棄物発電等施設導入委託業務における焼却施設関連技術規則改正支援業務」について請け負った。

9 関係団体等の各種委員会等への参画

1) (一財)日本環境衛生センター

- ・環境大臣表彰「廃棄物・浄化槽開発功労者」中央推薦候補者選考委員会
- ・脱炭素社会に向けたごみ処理座談会
- ・「令和3年度廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO2対策普及促進方策検討調査委託業務」に係る検討会
- ・「令和3年度でデジタル技術の活用等による脱炭素型資源循環システム創生実施事業委託業務」に係る検討会

2) (公社)全国都市清掃会議

- ・「第43回全国都市清掃研究・事例発表会」実行委員会

3) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

- ・教育研修運営委員会
- ・テキスト作成委員会

4) (株)エックス都市研究所

- ・令和3年度脱炭素化・先導的廃棄物処理シ

ステム実証事業（地域の熱利用マッチングによる焼却施設からのエネルギー回収高度化実証）検討会

5) パシフィックコンサルタンツ(株)

・廃棄物・資源循環分野の2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた検討会

6) (株)三菱総合研究所

・リチウムイオン電池等処理困難物の対策に係る検討会

7) みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)

・廃棄物処理施設排出量推計作業部会

8) (一社)海外環境協力センター

・「令和3年度環境インフラ海外展開プラットフォームの運営・管理等業務」における廃棄物分野に係る本邦企業の強みの言語化タスクフォース

9) 環境省 水・大気環境局

・中央環境審議会専門委員会

10) (一社)廃棄物処理施設技術管理協会

・「季刊 環境技術会誌」編集委員会

11) 環境省 廃棄物適正処理推進課

・廃棄物処理施設に係る耐震設計基準等検討委員会（協力団体として参画）

10 関係団体等の各種講習会等への講師派遣

1) (一財)日本環境衛生センター

（講師派遣延べ70名）

・2021年度「廃棄物処理施設技術管理者講習会」（講師派遣延べ61名）

①中間処理施設コース （4名）

②産業廃棄物焼却施設コース （14名）

③破碎・リサイクル施設コース （26名）

④有機性廃棄物資源化施設コース （5名）

⑤ごみ処理施設コース （12名）

2022年度廃棄物処理施設技術管理者講習

E ラーニング受講対 （講師派遣延べ7名）

①ごみ処理施設コース （4名）

②破碎・リサイクル施設コース （3名）

（一社）日本環境衛生センター（西日本支局）

・2021年度技術管理者等スキルアップ研修会及び廃棄物処理施設技術管理者等研修会（講師派遣延べ2名）

①ごみ処理部門 （1名）

②し尿・汚泥再生処理部門 （1名）

2) 中央労働災害防止協会

・ダイオキシン類作業指揮者養成研修会（講師派遣11名）

3) (株)廃棄物工学研究所（講師派遣延べ2名）

・2021年度春季度特別企画シンポジウム「持続可能な社会の実現に向けて～環境政策と廃棄物処理政策～」オンライン配信

（講師派遣1名）

・2021年度秋季特別企画シンポジウム「持続可能な社会の実現へ向けて～脱炭素社会への廃棄物分野の取り組み～」

オンライン配信 （講師派遣1名）

4) (一社)廃棄物資源循環学会

・令和3年度廃棄物資源循環学会第2回シンポジウム（講師派遣1名）

5) (一社)廃棄物処理施設技術管理協会

・第42回 廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（講師派遣1名）

6) (一社)環境衛生施設維持管理業協会

・第34回事業所管理者研修会（講師派遣延べ2名）

①ごみグループ研修 （1名）

②水グループ研修 （1名）